



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 教育・広報部
2021年1月7日 No.270

「2021年3月ダイヤ改正等について」 1月7日に新幹線統括本部より団体交渉で提案を受ける

新幹線統括本部・提案内容

【主な輸送施策】

- ①各線区共通 上野～大宮間の速度向上を行い、所要時間を短縮する。
- ②東北新幹線 一部の「やまびこ・つばさ」の列車時刻を見直す。「はやぶさ」の列車体系を見直す。
- ③上越新幹線 E7系を追加投入する。一部の「たにがわ」の列車時刻を見直す。

【東京新幹線運輸区の発足】

- ・東京新幹線運輸区を設置し、上野新幹線第二運転所を廃止する。

▼担務別担当線区

- ・車掌（東京～新青森間、東京～新潟間、東京～長野間）
- ・運転士（東京～盛岡新幹線運転所間、東京～新潟新幹線第一運転所間、東京～長野新幹線運転所間）



【担務別行路数及び乗務キロ】【変更後の標準数】【東京新幹線運輸区の標準数】

【実施時期】

- ・2021年3月13日（土）



【その他】

- ①東京支社丸の内車掌区が担当している新幹線車掌業務については、新幹線統括本部に移管する。
- ②就業規則第48条別表第1（以下「就業規則別表第1」）に定める乗務主務、乗務主任、乗務指導係、乗務係については、就業規則別表第1に定める各業務に関する必要な教育を行ったうえで、順次、担当業務間の相互運用を行う。

提案時の主な議論

- 本ダイヤ改正は「上野～大宮間 130キロ運転による各都市間の到達時刻の向上」「上越新幹線 E7系導入による古い車両の淘汰」が大きなトピックスとなる。
- 現行の行路は「東京駅・ホーム下詰所を起点とした折り返し時分」ダイヤ改正以降の行路は「東京新幹線運輸区を起点とした折り返し時分」となる。
- 「担当業務間の相互運用」とは、運転士が車掌業務を担うことや新幹線の運転士免許を有している車掌が運転士業務を担うことなどをイメージしており、対象は全社員を考えている。ただし、現行システムでは運転士、車掌が混在した行路は作成できない。勉強を開始した段階である。
- ダイヤ改正前と比べて「乗務率」は若干あがっている。

「安全」「サービス」「納得のいく働き方」の視点で議論していこう！